

平成 29 年度第 4 回理事会議事録

- I. 会議名 : (公社)日本地すべり学会 平成 29 年度第 4 回理事会
 II. 開催日時 : 平成 30 年3月 15 日(木) 14 時 30 分～17 時 00 分
 III. 開催場所 : 一橋大学一橋講堂 202 会議室
 IV. 出席者 : 理事出席 19 名○, 監事出席 1 名○ その他 2 名

役職	氏名	賛否	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
理事	落合 博貴	○	理事	後藤 聡	○	理事	平松 晋也	○
理事	奥山 武彦	○	理事	櫻井 正明	○	理事	松浦 純生	○
理事	榎田 充哉	○	理事	笹原 克夫	○	理事	水野 正樹	○
理事	中里 裕臣	○	理事	新屋 浩明	○	理事	森山 裕二	○
理事	浅野 志穂	○	理事	田近 淳	×	理事	八木 浩司	○
理事	新井場公德	○	理事	綱木 亮介	○	理事	渡部 直喜	○
理事	加藤 猛士	○	理事	中村 真也	○	(理事総数 20 名 定足数 11 名)		
監事	秋山 一弥	○	監事	白木 克繁	×	(監事 1 名)		
選挙管理委員会	今泉 文寿	○	ICL 小委員会	檜垣 大助	○	事務局	鈴木 英則	

○定足数 11 名(理事の過半数)を満たし, 理事会は成立した。

○議事録署名人は, 落合会長、秋山監事

<議長あいさつ>

落合会長が開会あいさつを行った。

<前回議事録>

中里専務理事が, (公社)日本地すべり学会平成 29 年度第 3 回理事会の議事録に関し確認を求めた。
 審議の結果, 議事録内容は承認された。

議題 I . 審議事項

I-1. 平成 29 年度事業報告(審議-1)

各部長及び各支部長より、資料に基づき、平成 30 年度の実業計画案の説明があった。

<議論>

- ・ ICL 小委員会及び国際化小委員会については、理事会承認なので計画に明示した方が良い。
 →検討する。
- ・ 小委員会という呼び方について、研究調査部の研究小委員会と混同する恐れがあるので、
 検討した方が良い。

審議の結果, 賛成 19 反対 0 で, 本議案は了承された。

I-2. 平成 30 年度収支予算(審議-2)

新井場総務部長より、資料に基づき、平成 30 年度予算案の説明があった。

<議論>

・赤字要因は何か？

→国土交通省の事業が取れなかったこと、独自研究事業を始めたこと及び活動の活性化のための支出を増やしていることが上げられる。

・改善策はあるのか？

→決算が出た段階で必要に応じて検討したい。

・大会の運営などで、支部の特に若手に負担感があるので配慮が必要である。

→運営の経費などは予算化しているが、必ずしも請求があるとは限らない現状がある。

・上の世代と下の世代の感じ方に差があるようだ。今の支部活動を支えている人に有益と思われる情報を出すことが必要である。

審議の結果、賛成 19 反対 0 で、本議案は了承された。

I-3. 平成 30・31 年度社員総会・理事会日程(審議-3)

新井場総務部長より、資料に基づき、平成 30・31 年度の社員総会及び理事会の日程について提案があった。

審議の結果、賛成 19 反対 0 で、本議案は了承された。

I-4. 平成 32 年度研究発表会担当支部(審議-4)

浅野事業計画部長より、資料に基づき、平成 32 年度の研究発表会担当支部について提案があった。

審議の結果、賛成 19 反対 0 で、本議案は了承された。

I-5. 出版細則の改定(審議-5)

櫻井出版委員長より、資料に基づき、出版細則の改定の方針について提案があった。

<議論>

・著作権の適正な取り扱いは重要である。

審議の結果、賛成 19 反対 0 で、本議案は了承された。

I-6. 会員情報のオンライン更新(審議-6)

鈴木事務局長より、資料に基づき、会員情報をオンラインで更新できるシステムの導入について提案があった。

<議論>

審議の結果、賛成 19 反対 0 で、本議案は了承された。

I-7. 入退会者状況(審議-7)

鈴木事務局長から、入退会者状況が報告された。

< 議論 >

審議の結果、賛成 19 反対 0 で、入会申込者全員の入会が了承された。

I-8. その他(審議-8)

特になし。

議題Ⅱ. 報告事項

Ⅱ-1. 平成 30・31 年度役員選挙

今泉選挙管理委員長より、資料に基づき、役員選挙の実施状況及び開票結果が報告された。

Ⅱ-2. 国土交通省中部地方整備局との災害時の協力協定

平松中部支部長から資料に基づき、土木学会、地盤工学会、砂防学会と連名で、国土交通省中部地方整備局や中部地方の県、政令市と災害時の協力協定を結ぶことが報告された。

< 議論 >

- ・災害時に行政から依頼があれば行政の費用負担で調査等の支援を行う。また、平常時は負担は各学会になるが、行政に場の提供などの依頼が出来る、という説明があった。

Ⅱ-3. WLF5 準備の進捗状況

檜垣 ICL 小委員会委員長より、資料に基づき、WLF5 の準備状況が報告された。

Ⅱ-4. 研究発表会発表認定内規

浅野事業計画部長より、資料に基づき、研究発表会における発表を認定する内規が制定されたことが報告された。

< 議論 >

- ・勝手に発表者や順序を変えるなどの悪質な例があることから制定したものである。
- ・急な災害対応などで発表予定者が発表できなくなったときに、連名者であっても他の発表をする者は代理で発表が出来ないのは、厳しすぎるのではないか。
→原則論で書いてある。
- ・「原則として」という規定は出来ないのか、検討して欲しい。

Ⅱ-5. 支部での若手対策活動

新井場総務部長より、資料に基づき、支部での若手対策活動のうち報告のあった例が紹介された。

Ⅱ-6. 支部ホームページの本部サーバーへの搭載

鈴木事務局長より、資料に基づき、支部のホームページを本部が使っているサーバーに無料で掲載できる旨の説明があった。

Ⅱ-7. その他

・なし

以上

議 長 落合 博貴 ⑩

議事録署名人 秋山 一弥 ⑩